

平成25年第7回日野町議会定例会（2日目）

平成25年9月19日 午前10時開議

一般質問通告表

通告順	氏名	質問事項
1	松本 利秋	<p>*高齢化に向けた元気づくりと災害対策について本町は、少子・高齢化と過疎化が進み、集落の生活機能維持が危ぶまれる現状が出始めています。そのような中で、気候の温暖化の影響で異常気象現象がみられ、局地的な豪雨により、あちらこちらで災害が発生しています。弱体化した集落では、なすすべがなく困っておられるのが現状です。</p> <p>そこで、集落の維持存続と町民の安心・安全なまちづくりを考えなければなりません。</p> <p>1. コミュニティーの充実、集落等の元気づくりに欠かせない地域活動支援交付金の交付状況はどうなっていますか。</p> <p>2. 高齢者ふれあい見守り事業及び町社協のライフサポート(シルバー人材センター)事業の成果と充実について。</p> <p>3. 災害発生後の復旧に、農業災害は40万円以上、公共災害は60万円以上が補助対象になっていますが、小規模の災害復旧には対処するものがなく、高齢化の進んだ集落では、人力、お金の問題等で困られるケースが出てきています。 局地的な集中豪雨等での小規模災害復旧補助の創設を考えることが必要ではないでしょうか。</p> <p>4. 町道(生活道、バス路線)に侵害している枝葉など、通行に危険な状況になっている箇所が町内のあちらこちらで見受けられます。 個人、集落ではどうしようもない状態です。先の小規模災害復旧補助金同様、これの対処策が考えられないものでしょうか。</p>

2	安達 幸博	<p>*西部9町村の県への要望会について 8月25日付日本海新聞記事に景山町長からの要望が載っていました。 日野振興センターで地元採用職員が少ないとして「いざという時の職員招集の対応が不安」と対策を求めています。 このことを、本町に置き換えると同じように「いざというときの職員招集の対応に不安」を私は感じます。</p> <p>① 職員を地元から採用する考え方は。</p> <p>② 臨時雇用から正職員に登用する考え方は。</p> <p>③ 職員は「日野町住民に」の考え方は。</p> <p>*がん検診について がんは早期発見、早期治療が大切です。 本町のがん検診は胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がんです。</p> <p>①前立腺がん検診を、町の検診に追加導入しませんか。</p> <p>②胃がんの発生にはピロリ菌が関わっていると考えられています。ピロリ菌検査補助制度を作りませんか。</p>
---	-------	---

<p>3</p>	<p>梅林 智子</p>	<p>*水路等の補修事業について 今夏の集中豪雨被害は、防災マップでノーマークだった水路にも襲いかかり、予想外の被害を出している。高齢化していく一方の地域では、もはや自力で改修する力がないところがある。</p> <p>農業や生活水源の管理は、住民生活に欠かすことのできないものだが、高齢化により、従来の自己負担や自治会任せの補修が限界にきている。</p> <p>たとえば、年金だけで生活を維持している高齢者家庭で、体力的にも経済的にも、不可能な場合、手立てを考えなければならないのではないか。</p> <p>*子宮頸がんワクチン接種の対応について 政府は、今年6月副反応被害の多発報告にとうとう、子宮頸がんワクチン無料接種事業に対し、積極的に薦めないとする、対応を打ち出した。</p> <p>6月後の接種状況と、町としての対応はどのようにしているのか。また、その後の副反応が疑われる様な被害は起きていないか。</p> <p>*生活保護家庭に対する支援について</p> <p>生活保護世帯に対する支援は、政府の決定により減額されたが、町として独自の支援策を考えるべきではないか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、生活保護世帯に、保育料を課しているが、取りやめるべきではないか。 2、たとえば高校進学を希望する中学生に塾の費用を支援するなど、他自治体でも実施している。
----------	--------------	---

4	佐々木 求	<p>*おしどり作業所菜種搾油事業について 本来、社会福祉協議会が指導し、菜種の生産量の確保、生産体制と販売ルートの拡充を行うよう担当者の配置も行われた。 県の指導する「工賃の3倍化計画」の中でも要の1つだ。 事業所、担当者任せになっていないか。 ①これまでの計画、生産量をどう分析しているか。 ②この間の支援策を具体的にはどのように取り、指導してきたか。 ③目標を明確にし、達成していくためには、相談し、促進できる体制が必要と考えるが、今後の計画考え方についてはどのようにしていくのか。</p> <p>*医療、介護について 病院事業を取り巻く環境は、今後ますます厳しさを増すものと思われます。 事業を推進する上で、本町は構成他町と違いその責任は大きく、強いリーダーシップが求められる。 それを進める構想をしっかりと町民と共有していけるものをもって向かわなければなりません。</p> <p>①来春指定管理者の更新となる。介護老人福祉施設「あやめ」の経営のあり方は病院経営の中でも、特に喫緊の課題として改善しなければならないと考えるがどうか。 ②病院議会の中でも議論が遅れていると思うが、その課題は何なのか。 ③町長は事業の中では「管理者」であるが同時に町民の医療、福祉、介護を守る責任が第1義的にある。政府は度重なる大幅な制度の見直しもすでに行う予定です。 具体的にはどのように対応されようとしているのか。</p>
---	-------	---

5	中原 信男	<p>*今日までの7年半の町政に対する自己評価は。日野町の財政状況が極めて悪化し、財政破綻が表面化した平成18年2月町長選挙で初当選以来、町政運営の舵を取られてきた。振り返って、思いとして良かった点、また不十分であった点等があれば町長自身どのように自己評価されているのかお聞きしたい。町長の率直な感想を求めるとともに、7月に発覚した不祥事についてのお気持ちも重ねて伺いたい。</p> <p>*来年2月に行われる町長選挙に立候補され、引き続き町政を担う気持ちがあるのか。あと半年後に迫っている町長選挙に町民の関心は高く、現職である町長が立候補する、しないの意思を住民に対してこの時期にはっきり表明した方がいいと思う。また、はっきり意思表示をする責任もあると思う。来年2月の町長選挙に出馬するかしないのか率直に伺いたい。</p> <p>*新たな人事を含む機構改革を考える気持ちはないか。現在の限られた職員体制をより強化し、職員の意欲の向上を図りつつ、職務に対する個々の責任感を今まで以上に持たせ、働きやすい職場づくりを構築していく必要はないか。</p> <p>具体的に副町長を置くべきだと思うが、どう考えますか。また、現在のグループ制という制度を改め、従来あった人事制度に戻してはどうか。(現在の職名制が課長以下が主幹、副主幹、主任の制度を、課長補佐、係長の制度の復活)</p>
---	-------	---